



市史へんさん

第 199号

平成 27 年 10 月 1 日

小松市史編纂事務局

へんさんだより



日ごとに秋が深まり、紅葉が美しい季節となりました。9月は、ぐずついた天候が続きましたが、10月は過ごしやすいわやかな秋晴れの日が続くといいいですね。

いよいよ文化の秋の到来です。今年は、夏に国府サミットが開催されましたので、秋の市史講座は国府に関連した講座を計画しました。市史第4巻『国府と荘園』で古代の編を執筆された森田喜久男先生をお呼びしての講座です。先生はどのように国府を捉えられているのでしょうか。当時の国府の姿、国府を治めた受領の素顔に迫ります。

第 69 回 市史講座

加賀国の国府と受領たち

講師：森田 喜久男氏（淑徳大学人文学部教授）



国府推定地(古府町付近)

弘仁 14 年(823)，越前国から江沼郡と加賀郡が分離し，この 2 国を合わせて，加賀国が成立しました。国府が小松市域に置かれたと推定されますが，発掘調査からまだ立証されていません。しかし国司等の動きは文献から明らかです。

加賀国は大陸との表玄関としての役割を担い，その国司は，教養に秀でた一流の文化人が任命されました。ところが，国司は任国に赴任せず，税の徴収などの政務は受領が行い，地方の支配システムが変化していきました。今回の講座では，平安期の国府の様子に迫ります。

日 時：平成 27 年 11 月 14 日(土)

午後 1 時 30 分～

会 場：小松市公会堂 4 階 大会議室

受講料：無料（事前予約不要）

<キーワード>

【国府とは】

奈良時代から平安時代に，全国の国ごとに置かれた役所。

【国司とは】

中央から地方統治のために派遣された役人。しかし，実際は現地に行かなかった。

【受領とは】

実際に，任地国に行って，現地で執務にあたった役人。

部 会 報 告

【近世村方部会】

今年度発刊予定。

内容構成が、1章が支配と租税、2章が村況と人々の生活、3章が産業の発展、4章が幕末維新期の小松市域で、今回は5章として図表編が付きます。図表編には正保3年から天保13年までに出版された村御印から、村名と村石高などが一覧表で掲載され、当時の村々の状況が一覧できます。小松市域では初めての資料です。翻刻された資料の中にも初掲載が満載です。



矢田四如軒「金平鉱山絵巻」(石黒家所蔵/DVDに掲載予定)



＜事務局9月の活動状況＞

- ・ 9月 5日(土) 温泉関係絵葉書・引札撮影
- ・ 9月 8・28日 旧市内町家悉皆調査
- ・ 9月 18日(金) 寺社棟札調査
- ・ 9月 25日(金) 近世村方部会
- ・ 9月 27日(日) DVD用資料調査

＜10月のカレンダー＞



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

は小松市史編纂事務局が閉室しています。10/1～10/5は、蔵書点検で図書館は休館です。

【産業部会】

内容構成が、繊維、工業(鉄道含)、鉱山、温泉、農林水産業、産業全般(工場統計)とし、2年間の調査結果がまとめられます。市から国への陳情書など地元産業発展のための尽力した足跡が数多く発掘されています。

【建築部会】

町家、古民家、寺社、庭園、公園等の実測調査が行われています。町家は旧市内が多く、殆どは昭和5・7年の大火に遭い、火災後数年の内に一斉に建てられていますが、基本は同じでも、使い勝手が良いように、バリエーションが見られました。

寺社では、棟札調査も始まり、建築年代の確認を実施しています。

【教育部会】

構成案として、江戸、明治、大正、昭和、戦後と時代を追って教育関係資料を紹介し、最後に、社会教育資料をまとめます。清水郁夫部会長を中心に、池田仁子、金戸隆幸、橋本浩、橋本正準、山前圭佑各委員が調査をスタートしました。



＜事務局10月の活動予定＞

- ・ 10月 1日(木) 菟橋神社本殿実測調査
- ・ 10月 8・29日 町家実測調査
- ・ 10月 14・17・18・25日 古民家実測調査
- ・ 10月 14日(水) 神社棟札調査

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>